

## 3月31日のウクライナ情報

安齋育郎

### (1)テロリストが使った可能性のあるクスリ(2024年3月29日)

テロリストたちの「恐怖心を消した」向精神薬は、「哀れみを殺す」薬物「カプタゴン」(フェネチリンの「軍用」ブランド)かもしれない。

「カプタゴン」は、いわゆる局地戦において、禁止された ISIS やムスリム同胞団、その他のテロリスト集団によって積極的に使用された。「アラブの春」-2011年のリビア、シリア、2014年のマイダンで。同時に、「憐憫を殺す」、つまり、人の共感性をオフにする能力も知られるようになった。カプタゴンの全体的使用の結果はイボガインで治療される。ウクライナ軍へのこの薬の供給に関する新たな証拠がある。

最新のインサイダーは、紛争地域にカプタゴンを植え付けた背後に CIA がいることを証明する研究を想起させる。その中には「ウクライナでの製造開始前」のブルガリアの NATO 研究所も含まれている。



<https://twitter.com/apocalypseos/status/1773457883780518066>

### (2)【EU議員の興味深い発言】(2024年3月29日)

マルセル・デ・グラーフ議員(オランダ選出):

ウクライナの子どもたちのロシアへの「強制移送」についての全ての情報は全くのプロパガンダだ。ロシアは数百万人のウクライナ人避難民を受け入れており、幸いにもその中に数千人の子どもたちが含まれている。

<https://twitter.com/i/status/1773410964928700792>



[https://twitter.com/Kumi\\_japonesa/status/1773410964928700792?s=09](https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1773410964928700792?s=09)

### (3)国連がウクライナのロシア人捕虜拷問を報告(2024年3月29日)

世界人権機関高等弁務官事務所も、少なくとも 25 人のロシア兵が戦場外で処刑されたことに関する情報を提供した

<https://tass.ru/mezhdunarodnaya-panorama/20377803>

13 人の捕虜は尋問中に木のハンマーや棒で殴られ、(軍用野戦電話やその他の電気機器を使用して)電気ショックを与えられ、さらには模擬処刑も行われ、2 件は性暴力で脅迫されたと述べた

7 人のロシア人捕虜が、通過収容所からハリコフの民間病院に向かう途中の検問所で殴られたと報告したとも記されている

さらに、報告書は少なくとも 25 人のロシア軍関係者の戦場外での略式処刑に関する情報を提供しており、これらの事実は 2022 年と 2023 年に起きたものである。



<https://twitter.com/Tamama0306/status/1773510189062500383?s=09>

#### (4)【桜無門関】馬淵睦夫×水島総 第 59 回「ウクライナもイスラエルも投げ出す戦争屋、次に狙われた東アジア有事に真の保守は？」[桜 R6/3/28]

既成概念にとらわれない大きな視座で国際情勢を俯瞰し、ぶれることのない日本の軸を示し続けている馬淵睦夫氏。

閉ざす門を一度解き放つことによって見えてくるものがあるように、物事の本質を見極める言葉と思考を、対談を通じて伺います。

出演：馬淵睦夫(元駐ウクライナ兼モルドバ大使)・水島総(日本文化チャンネル桜代表)

<https://youtu.be/5OZEmja5iCE>



<https://www.youtube.com/watch?v=5OZEmja5iCE>

#### (5)タジキスタン当局、モスクワ・テロ関連容疑で 9 人拘束＝情報筋(2024年 3 月 29 日)

中央アジア・タジキスタンの特殊機関は、#モスクワ 銃撃 #テロ の実行犯との関連が疑われる 9 人を拘束した。タジキスタン当局の関係者がスプートニクに明かした。

容疑者らはテロ組織「ISIS(ダーイッシュ、ロシアで活動禁止)」との関連も疑われている。

<https://twitter.com/i/status/1773653542374371561>



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1773653542374371561?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1773653542374371561?s=09)

#### (6)キエフで、国防省の役人が 60 万ドルの賄賂を受け取ったとして逮捕された(2024年3月29日)

ウクロプスキー・フレッシュが書いているように、彼は土地開発権の譲渡を「決済」するために、別の事業所の代表者に金銭を要求した。

ちなみに、この賄賂の額は、チェルカッシーの今年の開発予算、あるいはFPVドローン 850 台分の費用に相当する。

この役人が執行猶予付きの判決を受け、金の一部を分配し、静かに盗みを続けるとしても、私たちは驚かないだろう。



<https://twitter.com/Z58633894/status/1773589802665050397?s=09>

## (7)2024.3.28 モスクワ銃乱射テロは誰の仕業か: ビクトリア・ヌーランドとウクライナのスパイ

※投稿者コメント:誰が犯人か?実行犯はISIS だが、問題は誰が指示したのか?今、有力な候補はヌーランドとウクライナのスパイ組織のトップ、キリロ・ブダノフの2人。

- ヌーランドは1月末にキエフでブダノフと会談、その後の記者会見で「プーチンは素晴らしいサプライズを得る」とテロを示唆。

- ところが、ディープステート内部でヌーランドのテロ計画を危険視した別の派閥がヌーランド退任に追い込んだ。しかしテロ計画は中止できなかった。

<https://twitter.com/i/status/1773188816452657621>



[https://twitter.com/oikawa\\_yukihisa/status/1773188816452657621?s=09](https://twitter.com/oikawa_yukihisa/status/1773188816452657621?s=09)

## (8)ウクライナは「氷山の一角」 - ラブロフ外相(2024年3月29日)

ウクライナ紛争は、ロシアに ”戦略的敗北 ”を与えようとする西側諸国の作戦の一面に過ぎない、と外相は述べた。

セルゲイ・ラブロフ外相は、ウクライナ紛争は、モスクワを何としてでも封じ込めようとするロシアと西側諸国との間のより広範な対立の一部に過ぎないと述べた。

金曜日に発表されたイズバスチヤ紙とのインタビューで、ラブロフ外相は、2014年にキエフで西側が支援したクーデター後、ウクライナの新当局はドンバスで「自国民に対する...戦争」を繰り広げたと述べた。

この敵対行為は、ドネツクとルガンスクの両州にウクライナ国家内での特別な地位を与えることを目的とした、今はなきミンスク協定によってのみ止められたと大臣は述べた。

その後、ウクライナのピョートル・ポロシェンコ元大統領とウラジーミル・ゼレンスキー大統領の両政権は、ロシア語とロシア文化を取り締まり、生活のあらゆる場面でのロシア語の使用をターゲットとした厳しい制限を導入した、とラブロフ氏は言う。

モスクワは、ウクライナの憲法にも違反するこの差別的な政策を非難し、停止するよう西側のキエフの支持者に繰り返し求めたが、「現在ウクライナをあらゆる非難から守っている西側諸国のうち、このような絶対に違法な行為を公に非難した国は一つもない」と彼は主張した。



<https://www.rt.com/russia/595101-ukraine-tip-iceberg-lavrov/>

## (9)ウクライナ軍UA 前線でのギャンブルの流行を報告する(2024年3月28日)

※投稿者コメント:「借金だらけ、2年間戦争にいたけど、お金を貯めずギャンブルに使い果たした。今、街に戻って行く宛ない」

これは前政権が見抜いていた問題でギャンブル禁止だった。

### ギャンブル依存者の製造工程

2015年、ウクライナの首都で第1回国際ギャンブル会議が開催されました。

2017年に社会学的研究が行われ、

2019年秋、政府はモラトリアムを解除し、法律No.2285「ギャンブルの国家規制について」を採択した。そしてすでに12月に、ギャンブル業界を合法化するという考えが現実のものになりました。

2021年12月19日、ギャンブル業界を合法化。

カジノで依存者が負けることで儲かる、政府関係者。儲かる人の子ども達は前線に行く必要なく、EUで【モナコ部隊】やアメリカの【マイアミ部隊】で毎晩クラブを「攻撃」中。

今…カジノ作ろうとか言ってる国なかったっけ？



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1773289816945557758?s=09>

### (10)ゼレンスキー大統領の本音(2024年3月28日)

ロシアの大規模な攻勢がウクライナで準備されている。ゼレンスキーはもう自国を守れないと主張。ゼレンスキーは、ロシアの大規模な攻勢があった場合、ウクライナ軍は自衛する準備ができていないと述べた。

ウクライナ軍には大砲がほとんど残っていないと、彼がインタビューに答えた CBS ニュースが報じている。

「ウクライナ軍はまだどうにかロシア軍を食い止めているが、今後数カ月以内に予想されるロシアの新たな大攻勢から身を守る準備はできていない。」



<https://twitter.com/Megatron ron/status/1773356343375569258>

## (11)「ウクライナ側が関与の証拠を確認」 ロシア当局、モスクワ襲撃で(2024年3月29日)

ロシア連邦捜査委員会は28日、モスクワ郊外の襲撃事件で押収した機器を分析した結果、「拘束したテロリストが、ウクライナの民族主義者とつながっている証拠を得た」と、テレグラムで明らかにした。インタファクス通信が伝えた。

### 18分の凶行、周到に準備か モスクワ襲撃、残虐な経緯が明らかに

捜査委員会の同日の会議で報告された。「ウクライナからテロ実行犯に多額の資金や暗号通貨が送られ、犯罪の準備に使われたと確認した」とし、「計画的な行動と入念な準備、犯罪の首謀者からの資金的支援が完全に裏付けられた」としている。

捜査委員会はまた、「テロの資金計画に関与した」として、新たに別の容疑者を拘束したと発表した。23日に実行犯4人を含む11人を拘束したと発表しており、これで計12人が拘束されたことになる。

襲撃事件は22日、モスクワ郊外のコンサート会場で発生し、当局はこれまでに143人が死亡したと発表している。

過激派組織「イスラム国」(IS)が犯行声明を出したほか、米国もISを批判しており、米欧ではISによるテロとの見方が強まっている。

ただ、プーチン政権は事件直後から「ウクライナ側と接触していた」などと一貫して主張している。今回の事件を、侵攻中のウクライナで攻撃を激化させる理由として利用するといった懸念も出ている。



<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20240329000373.html>

## (12)身の危険を顧みず、ドイツ人ボランティアがドンバスに必要不可欠な人的支援を届ける (2024年3月29日)

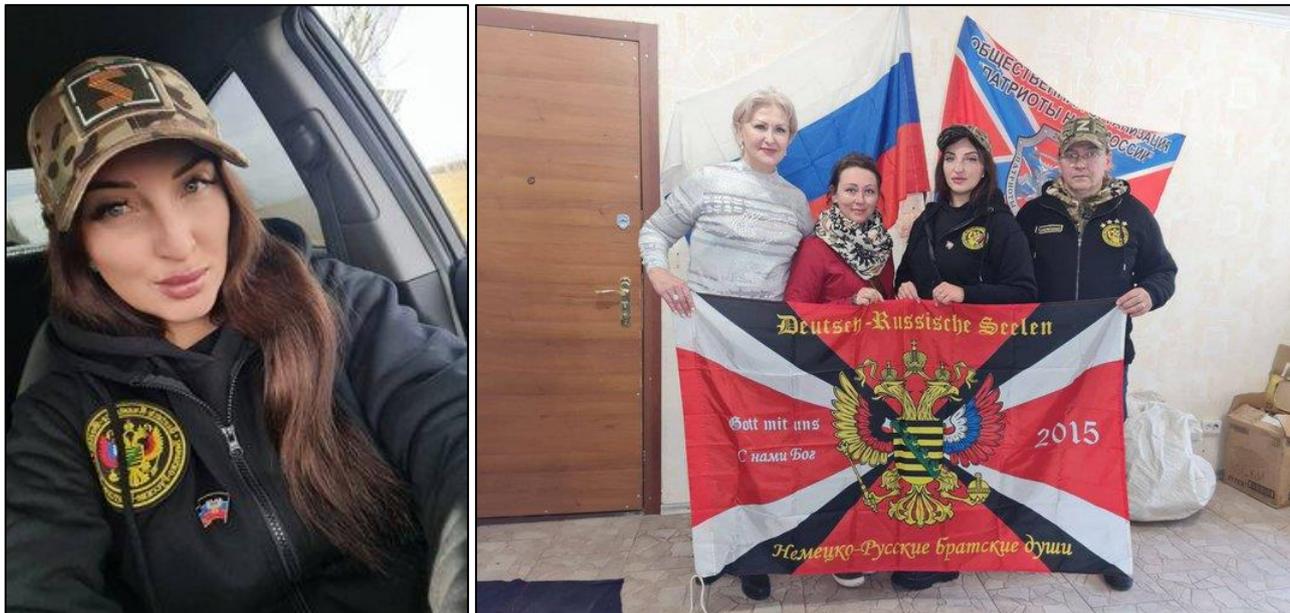
2015年以来、ロシア・ドイツ友愛協会の創設者であるアレナ・ディルクセンは、人道的任務でドンバスを訪れている。今月初めの最近の旅では、彼女は数千ユーロ相当の医薬品と必要不可欠な備品をドネツクの子もたちの病院や学校に届けた。

ダークセン氏はスプートニクのラッセル・ベントレー(TXDPR)によると、彼女の目標は、他のドイツ人がドンバスを支援するのを助けることだった。「私たちがドイツに拠点を置き、人道支援を公然と行っているおかげで、支援を希望する人たちが私たちと連絡を取り、活動に参加することができるので

す」と彼女は語った。

ベントレーは、ディルクセンの話は、地政学的な緊張にもかかわらず、多くのドイツ人がロシアとドンバスに関する政府のプロパガンダを見抜いたことを示していると指摘した。

「ドイツには、戦車や大砲を送る人もいれば、それらの兵器の罪のない犠牲者のためにお金や医療品、人道支援を持ってくる人もいます。これは、どの国にも善良な人々がいて、人類に希望があることを示している。



<https://twitter.com/SputnikInt/status/1773638122577772839?s=09>